

(別紙2-2)

事業所名:グループホーム トリニテ松崎

作成日:平成 28 年 4 月 26 日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	ターミナル期に関する研修や勉強会が少なく、また経験もないため、ターミナル期に関しての職員の意識の統一が図れていない	ターミナル期や看取りに対しての職員の意識の統一と方向性の明確化	ターミナル期や看取りに関する勉強会を行い、職員の知識や意識の共有を図る。看取りの経験がない職員が多い為看取り=怖いという認識が強い。そのため、職員間で”死”に対する観念やグループホームとしての意識の統一を図る。	12ヶ月
2	10	職員の離職が重なり、また法人間での異動が不定期に多い為、ご家族様の不安や不満になっている	職員の離職率を下げる。また職員の異動に伴うご利用者様やご家族様の不安感を取り除く。	職員が働きやすく、かつ意欲的に働ける職場環境を作る。また、職員が法人内で異動になる場合はユニット新聞などを通して早めにご家族様やご利用者様にお伝えし、信頼関係を構築する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。